

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立保谷第一小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く。	28.9	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができ、漢字の書き直しや送り仮名の訂正などにおける正答率は全国平均と比べても高いところから、常用漢字の定着が概ね見られる。 ・文章の種類とその特徴について選択肢から取捨選択する際、根拠をもって考えられていることが正答率から判断できる。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 ・原因と結果など情報と情報の関係や、筆者の主張、要点などを捉えることができる児童が多い。 ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた選択肢を選択する形式には慣れているが、文章の前後から推測し、キーワードを用いて文章化することに課題が見られる。 ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができていない。 ・日常よく使われる敬語の理解に課題がある。 ・「B 書くこと」についての設問が後半に集中することで、時間配分に苦慮していることが、無回答率が14.4%と全国平均9.5%と比較しても自明である。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。 ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。
	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する。	52.6		
	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをまとめて書く。	59.8		
	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているかについて、分かったことをまとめて書く。	66		
算数	テープを直線で切った二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。	24.7	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。 ・また、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を見つけることもできている。 ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる。 ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が見られた4つの問題中3題に共通していることは、出題形式が記述形式であることである。3題それぞれが、面積の大小を判断して理由を記述したり、知りたい数量の大きさの求め方と答え記述したり、グラフから見出した違いと答えを記述したりする形式であった。このことから、式や言葉を用いて根拠筋道立てて記述することに課題があると言える。
	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く。	40.2		
	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く。	59.8		
	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く。	66		